

「子ども食堂」とは

○子どもが一人でも安心して利用できる無料または低額の食堂で、決まった定義はない自由な取り組みで全国に広がっています。

育ち盛りの子ども達に栄養を考えた美味しい食事を提供するとともに、みんなで食卓を囲む楽しさを知ったり、世代間の交流や、親同士のコミュニケーションの場にもなっています。

食事の提供



学習支援



体験(遊び)



多世代交流



NPO 法人静岡市子ども食堂ネットワークの紹介

○「静岡市内の小学校区に1つ子ども食堂を！」目標に、静岡市内で「子ども食堂」の立ち上げ、開催、運営に対して、食材や運営費、保険、衛生管理、広報等に関するサポート事業を行い、食事提供や学習支援、体験学習などの企画イベントを通して多世代間の交流を深め、子どもたちの豊かで充実した生活と地域社会作り貢献することを目的として活動しています。

NPO 法人静岡市子ども食堂ネットワークが運営サポートする子ども食堂を、「認定子ども食堂」と言い、2018年5月現在静岡市内に8会場にひろがっています。

【市内に広がる認定子ども食堂一覧】

2016年	4月	竜南小学校区 「竜南ひまわり子ども食堂」スタート 任意団体静岡市子ども食堂ネットワーク設立
	9月	長田西小学校区 「丸子せんマル子ども食堂」 麻機小学校区 「麻機ベーテル子ども食堂」スタート
	10月	飯田小学校区 「飯田子ども食堂」スタート
2017年	9月	長田南小学校区 「長田南しらす子ども食堂」スタート
	10月	大里西小学校区 「大里西ききょう子ども食堂」スタート
2018年	2月	長田東小学校区 「長田東いちご子ども食堂」スタート
	3月	特定非営利活動法人静岡市子ども食堂ネットワーク設立
	5月	井宮北小学校区 「井宮北しょうぶ子ども食堂」スタート
	8月	飯田東小学校区 「飯田・飯田東子ども食堂」スタート
	10月	高部小学校区 「高部キンカン子ども食堂」スタート
2019年	1月	川原小学校区 「川原ステップ子ども食堂」スタート

利用する子ども達に条件はなく、「自分で来たいと思ったら来る」「共働きなどで1食でも食事をしてきてくれると助かるという保護者の方が通わせる」「単身赴任や他県からの移住で親同士の交流ができない保護者の方の参加」が多く、保護者で利用する人の中には、同年代の子どもたちの様子を見て自身の子育てについて考えたり、ボランティアに育児相談したり、愚痴を聞いてもらったりして過ごしています。

子どもたちは、核家族化や一人っ子で、年代が違う子と過ごす機会がないことが多く、子ども食堂を通じて、お

兄さんお姉さんにお世話してもらったり、逆に自分が年下の子のお世話をしたりすることを、同じ空間で過ごすことで学んでいきます。

【必要な子どもたちへの支援のために「週1子ども食堂」を2018年6月からスタート】

継続して子ども食堂を続けていくなかで、地域に根差し、子育て世代の保護者の方に周知していただけるようになると、地域の方からの支援が必要なのではないか？と日頃から感じている子どもたちの情報が寄せられるようになりました。

「助けてあげたいけど何をしたらいいのかわからない」

「勘違いだったら傷つけてしまう」

「学校はこのことを知っているはずなのに何をしているの？」

「中途半端に関わって、トラブルに巻き込まれたくない」

などの理由から、何とかしてあげなくてはと思いながらも、何もできずただ遠くから見ていることしかできない方はとても多く、そういった情報を気負わずに相談していただけるのも「子ども食堂」の利点です。

会場：状況にもよりますが、決まった会場に子どもたちを集めるのではなく、

①地域で施設を借りて開催（可能であればその子が歩いて通える学区内が理想）

近隣施設を借りることで、地域の方にも一緒に見守ってもらえるようにする

②自宅での支援ができるなら、その子の家について食事などの支援をする

現在はまだ、保護者の方に食事を食べに来ていただいています。家まで子どもたちを送って行って、様子を見るようにしています

その子の地域で場所を借りて週1子ども食堂を運営することで、地域でその子と、その子の家庭について理解と見守る大人たちを増やし、何かあった時に歩いていけるところに、居場所を用意してあげられるように、継続して行っています

食事：なるべくバランスの良い物を、でもその子の好きな物を中心に。偏食をすこしづつ減らしていけるメニューを、その子の様子を見ながら提供していく

①支援品でいただいた野菜や缶詰などを帰りにお土産に持たせています

②必要であれば、惣菜、弁当を作って持たせます。

※事務所兼店舗で飲食店の営業許可（仕出し・お弁当）を取っており、きちんと定期的に保健所の立入検査を受けた厨房で調理した物を提供しています

交流：学生ボランティアに参加してもらい、学習だけでなく、会話や遊びを通じて、人と交流する楽しさを感じてもらえるようにしています

その他、手に職を持った人たちを招いて、体験談を聞いたり、一緒に作ってみたり、何か子ども達の将来にプラスになる経験をさせてあげられるように取り組んでいます

現在開催している「週1子ども食堂」では、小学校の担任の先生も参加してくださっており

今まで、学校との交流を一切取らなかった保護者の方と、ゆっくりですがコミュニケーションが取れるようになりました。

遠目に見ていた近所の方も、スーパーなどで見かけると積極的に声をかけてくださるようになり、少しずつですが孤立していた状況が改善して行っています。

様々な事例がありそれに合わせ対応も変わっていきませんが、地域で声をかけあい、少しでも会話を交わせる関係に導くことができることも、子ども食堂の大きな役割と考えています。

1 子ども食堂とは何か。

- ・東京発の貧困対策。
- ・メディアが大きく取り上げる。
- ・絶対的貧困より相対的貧困の方が多い（七人に一人）。
- ・貧困対策のレッテル。
- ・実際は地域交流・多世代間交流が多い。

2 子ども食堂で出来る事。

- ・貧困対策。
- ・地域交流、世代間交流。
- ・子ども達の第三の居場所。
- ・食育・孤食対策活動。
- ・ボランティアの交流の場。
- ・体験学習。
- ・地域に埋没した保護者や子供たちの相談、サポート。
- ・子育て問題に取り組む行政や団体・専門機関との連携。

3 地域に広げる子ども食堂の意味。

- ・まずは子どもたちが気楽に歩いて行ける距離に。
- ・強制ではない、子どもたちの自由意思。
- ・地域の問題をいち早く掴み取れるネットワークの構築。
- ・静岡市内全小学校区に子ども食堂を設置するユニークな取り組みとその影響力。
- ・ボランティアや体験学習の融通を無理なく行える。
- ・「自分の住んでいる地域を良くしたい」という思いを行動に移せる場所。
- ・協力者から頂く様々なものを無駄なく無理なく使い切るボリューム。
- ・協賛者、協力者、補助助成金に大きく携われる為のスケールメリット。
- ・地域ごとに違う子ども達を取り巻く環境の問題解決。地域に合った内容。
- ・保健所との連携、食中毒等の保険加入、食品衛生責任者の配置、相談員の配置、小学校との連携、行政との連携を行うためのスケール。
- ・センター機能の必要性。

4 子ども食堂のその先に

- ・皆で子育てを考えられる場所。
- ・子どもたちの環境を整える世界の構築。
- ・地域の保護者・住民、ボランティア、教育機関、行政、企業、団体が負担なく強みや特色を生かした携わりが行えるネットワーク構築。
- ・地域文化の一つとして定着し、「地域子育て」を当たり前。
- ・地域の子どもたちを、地域のボランティアが面倒を見て、地域の企業がサポートし、地域の学校が理解し、地域の保護者が感謝する そんな地域完結の活動。
- ・悲しい事件を少しでも減らしたら。

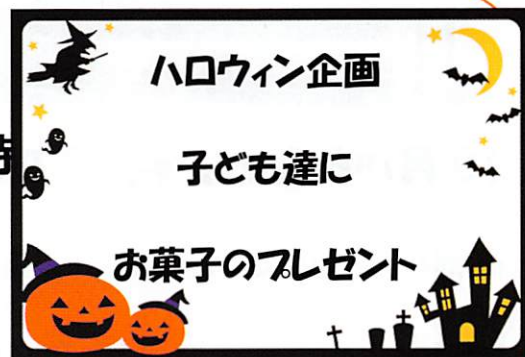
井宮北しょうぶ子ども食堂

「子ども食堂」とは子どもが1人でも安心して来られる食堂です。
地域ぐるみで子どもを大事にする垣根のない居場所を作っていく食堂です。
手作りの美味しいご飯をお腹いっぱい食べて、宿題をしたり、お兄さんお姉さんや、おじいちゃんおばあちゃん、地域の皆でお話したり、「食事」を通じて一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

場 所：松富団地集会所(葵区松富1丁目1-13)

日 時：10月22日(月) 15時30分～18時

対 象：幼児、小学生～中学生とそのご家族



(子ども一人でも、親子で来て頂いても大丈夫です。※幼児は保護者同伴でお越し下さい)

メニュー：ビーフシチュー

※アレルギーのある方は事前にお問合せ下さい。受付時にも確認しております。

参加費：子ども無料 大人 300円※子どもはお手伝いしてね

お手伝いは食事をテーブルに運び、食べ終わったら片づけて、テーブルを綺麗に拭いて下さい。

定 員：30名※食事なくない次第受付終了致します。

※子ども食堂の利用は、お家の人に伝えてから来てね！

認定子ども食堂とは...静岡市子ども食堂ネットワークが運営サポートする、食中毒保険への加入・保健所への相談報告、立入検査を受けるなど衛生面に配慮し、地域の自主活性を目指す子ども食堂の事です。

■運営、お問合せ先

NPO 法人静岡市子ども食堂ネットワーク

住 所：静岡市駿河区丸子 3337

電 話：09079114104

メール：banbiwagon@gmail.com



井宮北しょうぶ子ども食堂を
応援してくださっている企業

アイワ不動産

有限会社ワカスギ

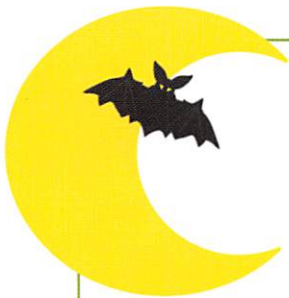




10月から高部小学校区でも子ども食堂がスタートします!

高部小学校区で19日から「高部キンカン子ども食堂」が始まります。ゆっくりですが静岡市内の小校区に1つ子ども食堂を、の目標に向かって1歩1歩進んでおります。皆様の応援ご支援があつてこそ継続していける活動です。

今後ともよろしくお願ひいたします。



ボランティア募集

13時～19時の間で

・会場設営・調理、配膳・片づけ・学習支援

などを一緒にお手伝いしてくださる方を募集しています!!

お問合せ・お申込みは

NPO 法人静岡市子ども食堂ネットワーク

banbiwagon@gmail.com へ

NPO 法人静岡市子ども食堂ネットワークの運営を応援してくださっている企業



アイワ不動産

有限会社ワカスギ

大和証券
Daiwa Securities



子ども食堂 応援団募集

静岡市
子ども食堂
ネットワーク



地域の子育て みんなで作る「子ども食堂」

ボランティア募集

- ・調理・配膳・会場準備片づけ
 - ・学習支援や体験企画など
- 資格や経験がなくても結構です
自分にできることでお手伝いください

食材の応援

賞味期限切れ間近、形の悪い野菜など、販売ができなくなってしまったけれど、充分食べることのできる食材を譲っていただけませんか？

場所の応援

店舗や、空き家などキッチンのある場所
を提供してくださる方を求めています

ご家庭の不用品を譲ってください

古着、雑貨、はぎれ、本など
※フリマで販売し活動資金とさせていただきます

協賛応援

「子ども食堂」を継続的に運営していく為に
ご寄附をお願いいたします

賛助会員 1口 5,000円/年

地域協賛 1会場

5,000円/月

10,000円/月

20,000円/月

*****お振込先口座*****

静岡銀行丸子支店 普通預金0445535

特定非営利活動法人静岡市子ども食堂ネットワーク 理事 飯沼直樹

お問合せ・お申込み

NPO 法人静岡市子ども食堂ネットワーク

住 所：静岡市駿河区丸子 3337

メール：banbiwagon@gmail.com/090-7911-4104



協賛企業と内容

協賛企業名	内容
株式会社タカラ・エムシー (フードマーケットマム)	特別協賛
株式会社アイワ不動産	チャリティーコンサート義捐金の寄付 地域協賛 (井宮北しょうぶ子ども食堂) 社員のボランティア派遣
大和証券株式会社 田形青果株式会社	特別協賛 地域協賛 (長田東いちご子ども食堂)
有限会社ワカスギ	開催会場への冷蔵庫の無償レンタル
駿府ライオンズクラブ	協賛
株式会社ヤマザキ	毎月定期的な商品の提供 (もう一品惣菜)
株式会社 N's 静岡	地域協賛 (長山南しりず子ども食堂)

NPO 法人静岡市子ども食堂ネットワーク協賛案内

協賛の種類

①地域協賛…静岡市内で当法人が管理運営している認定子ども食堂1会場の協賛サポート
月／20,000円

協賛いただいた子ども食堂の運営費に優先的に活用させていただきます

ご協賛いただいた地域の子ども食堂のチラシに企業、団体のロゴマークを掲載いたします

②特別協賛…NPO 法人静岡市子ども食堂ネットワークへの協賛

年／50万円

法人の運営や子ども食堂の立ち上げ、開催に活用させていただきます

企業、団体のロゴマークをすべての子ども食堂開催チラシに掲載します

よろしくお願いいたします